

特集

# 小規模特認校制度で開かれた学校に 丹那小学校

小さな学校だからこそできること

## 丹那小学校の魅力



### 1 少人数ならではのきめ細やかな指導によって、個に応じた学びを進めます

#### 基礎基本の定着



目標を立てた漢字の「読み・書きチャレンジ」やNIE\*に取り組みます。読む力が高まります。  
※ NIE…新聞を教材活用する活動

#### 安心して取り組める英語教育



小学1年生からALT\*とゲームや会話を中心とした学習を行います。英語への興味関心が高まります。  
※ ALT…外国語指導助手

#### 充実した情報教育



目的に応じた情報発信やプログラミングの活動をとおして、情報活用能力や問題解決能力が高まります。

### 2 自然豊かな丹那で体験活動や交流をとおして子どもたちに主体性が育ちます

#### 季節の食農酪農体験



地域の協力で米や野菜を育て食べたり、酪農体験をしたりして食のありがたさについて考えます。

#### 地域・ジオ学習



玄岳、丹那断層、丹那トンネルなどのジオサイトや歴史を学び、地域を大切に作る気持ちが高まります。

#### 他校および国際交流



町内および海沿いの学校の児童や海外からの体験に来た児童と交流することで世界観が広がります。

### 3 一人一人にあった役割を担うことで、挑戦し最後までやり抜く気持ちが育ちます

#### 行事では一人一役担当



役割を果たすために友達と協力したり、自分で工夫したりすることで達成感や所属感を味わいます。

#### 活発なたてわり活動



日常的に異年齢との交流があります。ふれあいをとおして思いやりや上級生を慕う気持ちが育ちます。

#### 主体的な表現活動



授業だけでなく、行事などで全校の前で自分の思いを伝える機会が多く、表現力が育ちます。

令和5年度から丹那小学校は、希望すれば学区外から通学が可能になる「小規模特認校制度」を採用します。  
豊かな自然環境と地域の温かさが魅力の丹那小学校の取り組みを紹介します。

問合せ先/学校教育課 (979-8121)  
丹那小学校 (974-0024)



▲採光に配慮した丹那小学校の校舎

#### 【学校教育目標】

挑戦 はじける笑顔 丹那の子

#### 【校訓】

何くそ やりぬくぞ

#### 【児童数】 59人

#### 学年別児童数

学年	1	2	3	4	5	6
児童数	8	9	6	10	11	15

(5月1日現在)

**小規模特認校制度とは**  
町内の子どもは、住所地によって指定された学校へ通学することが定められています。  
小規模特認校とは、特定の学校を「特認校」として指定し、少人数での教育のよさを生かした教育活動や豊かな自然環境のなかで、子どもを学ばせたい保護者や学びたいという児童に、一定の条件のもとで住所地に関わらず特別に特認校への通学を認める制度です。  
町は、6月に丹那小学校を町内で初めて小規模特認校に指定しました。中山間地で顕著な少子化の影響を受けるなか、この新たな取り組みで町の教育は変わりつつあります。

**丹那小学校の沿革と教育**  
丹那小学校は、明治6年に函南学校第一支校丹那学舎として法輪寺を仮使用して開校し、令和5年で開校150周年となる歴史のある学校です。学校の周辺は、山々や田んぼ、牧場など多くの自然に囲まれています。恵まれた環境のなか、子どもと先生だけではなく地域とも密着した教育を行っています。  
学校の教育目標は「挑戦はじける笑顔 丹那の子」です。試行錯誤を繰り返して課題を解決し、自分の成長を実感して笑顔になる子や丹那のすばらしさを体感することにより、丹那に誇りと愛着をもつ子の育成を目指しています。